

information 6.1 浜田市総合防災訓練の地域の様子



6月1日(日)に行われた浜田市総合防災訓練の日は、各地域、各団体がさまざまな防災の取組をされました。黒川町の黒川まちづくり委員会は「日常備蓄でつくる頑張らない災害食」を浜田市防災安全課から学び、家庭に常備してある食材を使った災害食作り等をされました。また、大辻町では大辻町連合会(地区まちづくり推進委員会)の設立記念で配布された「安否確認タオル」を利用した訓練をされました。その他にも多くの地域で、災害を想定した防災訓練等に取り組まれました。こういった防災の活動もまちづくりには欠かせないですね!

「60の手習い」
 コーディネーターのつぶやき
 この春からオカリナの音楽教室へ通い始めた。
 なぜこの楽器かというと、アニメーション映画「となりのトトロ」を見るたび「オカリナの音色はいいなあ。吹けるようになりたいなあ。」と、長年の思いからだ。
 音を出してみると想像どおり優しい音色に気持ちが良い。
 セラミック製でないタイプは、ひとつ一つ土をこねて焼成するため指穴の位置や全体の形、音程までもがどれひとつ同じものはないということも知り得た。
 今は、運指を覚える段階なので、少々音程がずれていても気にしなくていい。練習時間を作るのに工夫があるが、わずかな時間でも楽器の音色が心地よい。
 ウォーミングアップの指体操が認知症予防の指体操と同じであることや、呼吸法が腹筋強化につながるなど、健康面への効果も大きい。
 しばらくは、私の自主練習時間を家族が安心して過ごせるようになることを目標に、オカリナを楽しもう。(文:吉本美和子)

①まちづくりコーディネーターの活動の様子は下記の二次元コードから♪

【Instagram】

フォローしてください!

浜田市地域政策部
 まちづくり社会教育課
 【電話】 0855-25-9201
 0855-25-9007
 (まちづくりコーディネーター執務室)
 【FAX】 0855-23-1866
 【メール】 machizukuri@city.hamada.lg.jp

【依頼申請コード】

全ての人が一体となった持続可能で元気な浜田

写真:生湯町モルック交流会

第14号
 令和7年6月発行

まちづくり通信 コーディネーター

目次

- P1. 令和7年度まちづくりコーディネーターの活動
- P2. 原井笠柄まちづくり委員会設立しました! **NEW**
 生湯町モルック交流会
- P3. まちづくり活動報告(金城地域・三隅地域)
- P4. 浜田市総合防災訓練の地域の様子
 コーディネーターのつぶやき

2025 方向性 令和7年度 まちづくりコーディネーターの活動

今年度も地域みなさんと一緒に「安心して暮らせるまちづくり」を目指して活動しています。今回は、私たちが大切にしている4つの取組をご紹介します!

- 1 まちづくり推進委員会の設立** ◆地域の未来を一緒に考える会議をサポート◆
 地域のめざす将来像に向けて一緒に取り組む「地区まちづくり推進委員会」が立ち上がるよう、地域の話し合いの場づくりをお手伝いしています。
- 2 まちづくり活動推進** ◆地域でのイベントや取組を応援しています◆
 地域の困りごとや課題を気軽に相談していただいたり、地域の活動がスムーズに進むように、一緒に考えたり、お手伝いしたりしています。
- 3 コーディネーター活動情報発信** ◆地域の“がんばり”を伝えています◆
 みなさんの取組を広く知ってもらえるように、SNSや広報などで発信しています。「伝える」ことで仲間づくりにつなげていきます。
- 4 地区や地域を超えた連携づくり** ◆他地区・他地域との連携による課題解決◆
 まちづくりセンター内の各地区やさらに広域の各地域(浜田・金城・旭・弥栄・三隅)の特色を活かしつつ、そのエリアを超えてそれぞれが連携できる体制を構築し共通課題を把握しながらその解決を図ります。

地域みなさんと一緒に、未来のまちを育てていく「伴走者」として、今年度も様々な活動に取り組んでいます! 小さなご相談でも、お気軽に声をかけてくださいね。

2025 新設立 **新たに設立しました！ NEW**
「原井笠柄まちづくり委員会」



新 令和6年3月をもって閉校した雲雀丘小学校は150年の歴史があり、現在地の木造校舎を新築移転した敷地造成の際には、地域住民が「鍬を手に人力で整備した」という思い入れのある学校です。

閉校に向けて具体的な行程表が示された地元説明会では、保護者から通学路の未整備やスクールバス送迎に対して懸念する発言があり、それらに配慮する解決案を条件に、令和6年4月から学校統合することになりました。

こうした中、地元の八つの町内では、令和3年から始まった閉校後の校舎・敷地活用に関する意見交換を

通じて、ここをまちづくりの拠点とすべく検討を重ねてこられました。当初は、避難所施設として活用し防災組織設立に向けて話し合いが進められてきましたが、原井町は過去豪雨災害を経験、また笠柄町においては火災時に道路が狭く危険といった課題がありました。一方で、閉校後の施設利用に空白期間を置かない点も重視する必要があり、地元や浜田市また教育委員会等と協議を進めた結果、防災に限定せず様々な活動拠点として活用する中で住民の繋がりづくり・人づくりを進めて行くことで合意し、令和7年3月9日に「原井笠柄まちづくり委員会」が発足することとなりました。

まちづくり委員会では、今後ともまちづくりの積極的な活動を行う中で、拠点となる木造校舎が築66年が経過し改修が容易でないという課題についても、その解決に向け働きかけを行っていきたくと意気込んでおられます。

2025 楽しむ **生湯町に新たな歴史が増えました！**
生湯町モルック交流会



初 5月18日（日）生湯町大元神社下の広場で「生湯町を楽しもう！モルック交流会」が開催されました！

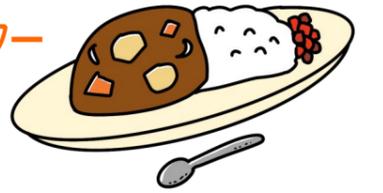
生湯町ではこれまでに意見交換会を数回行い、住民のみなさんが、安心して暮らせるようになるにはどうしたらいいだろう？と話し合いを重ねてきました。さまざまな課題がある中、とにかくみんなで楽しいことをやってみよう！とモルック交流会を企画！当日は70名近い参加がありました！

実はこれまで生湯町では、住民全体でまとまった行事が特になかったそうです。初の試みでしたが多くの方が集まり、あらためて生湯町の力を感じました。残念ながら、雨が降り途中で中止となりましたが「モルック楽しかった。またやりたい」「生湯に住んでいても神社には初めて来たからお参りして帰ります」などの声を聞くことができました。

閉会の挨拶で古和会長が「今日は生湯町にとって歴史的な日です。次回もぜひ参加してください」と話すと、うなずく方もおられ、今後の生湯町がとても楽しみにになりました。



2025 金城地域 **雲城まちづくり委員会/雲城まちづくりセンター**
くもぎカレーの日



カ 4月17日（木）の開催で9回目となったくもぎカレーの日。雲城まちづくりセンターがさんあいホームに移転し、初めての開催でした。今回は雲城まちづくり委員会の有志メンバーが調理を担当し、「ちあきと雲城の玉ちゃん」による歌とクイズでは、手拍子あり、笑いありで盛り上がっていました。また、手作りパンやお総菜の販売も好評で完売。

毎回、カレーの作り手が変わり、参加者が楽しめるように、催しや運動等工夫をされています。

スモールスタートで始まり、回を重ねるたびに新たな参加者もあり、食べることを通じた地域のつながりづくりは一步一步ゆっくり広がりを見せています。

次回、6月28日（土）は県大サークル★コネクトが調理担当です。



2025 三隅地域 **三隅地区まちづくり推進協議会**
楽しみながら関わっていけるまちづくりを目指したい

楽 三隅地区まちづくり推進協議会では、今年度、第4次まちづくり推進計画を策定しています。5月16日（金）の全体会では、「私の考えるまちづくり」をテーマにワークショップを行いました。事務局の思いは、「住んでいるみなさんが楽しみながら関わっていけるまちづくりにしていきたい」ということ。そのためには、自分の思いを語る楽しさを体験してもらおうことが、計画策定の一步と考えました。



今回は、意見を出しやすくするために、「えんたくん」というコミュニケーションツールを活用されました。このワークショップにより、多様な意見が出て、まちづくりについて当事者として考える機会となりました。



今後、「子どもまちづくり委員会」の活動も予定されていて、大人も子どもも三隅地区の「私が考えるまちづくり」を実践していきます。まちづくりセンター内には、活動経過が掲示され、訪れた人が様子を知る工夫が施されています。